



# 青カミシ

烏山北小学校の教育目標

◎すすんで学びよく考える子ども

○豊かな心もち仲良く助け合う子ども

○すすんで健康な体をつくる子ども

重点目標 みとめあい まなびあい そだてあい

<目指す児童像> 「かしこい子」「らしさを大事にする子」「きりつ正しい子」「たくましい子」

令和6年6月28日(金)  
創立72周年 No. 4

烏山学舎 世田谷区立烏山北小学校 校長 河野 芳浩  
〒157-0061 世田谷区北烏山6-3-1 TEL3300-5764 FAX3300-5785  
学校HP <http://school.setagaya.ed.jp/kata/>



## どうすればよいのだろうと考える楽しさ チャレンジを楽しむ夏に♪ 校長 河野 芳浩

小学生のころ、紙飛行機づくりに夢中になりました。折り紙の紙飛行機ではなく、ケント紙に印刷された型紙を貼り合わせて作る紙飛行機です。紙飛行機の父と呼ばれた二宮康明さんが設計した紙飛行機の型紙が、月刊誌「子供の科学」の付録になっており、毎月1機の飛行機を作るのがとても楽しみでした。

飛行機づくりには、2~3日かかりました。折り紙とはずいぶん違います。まず、十数片の型紙を丁寧に切り抜き、説明書通りに接着剤で貼り合わせます。そうしてできた胴体、主翼、尾翼を組み合わせて接着します。十分に乾いたら、機体の強度を高めるためにクリアラッカーを翼に塗り、全体がしっかりと乾けば完成です。

完成したら、近所の公園で試験飛行です。翼や胴体のねじれはないか確かめ、静かに飛ばしてみます。飛び方をみて翼を微調整。左に曲がるようなら左の水平尾翼を少し上向きに反らせます。このような調整を何度か繰り返し、やや右旋回するくらいに飛ぶように調整出来たら準備OK、いよいよ本番です。

機首をカタパルトの長いゴムに引掛け、両手いっぱいゴムを引っ張り、天に矢を放つように飛行機を発射させます。飛行機は、勢いよく垂直に天に昇り、勢いを失ったところで水平に向き直り、風をきって空をすべり、大きく旋回しながら地上へと舞い戻ってきます。日が暮れて飛行機が見えなくなるまで、何度も飛ばして楽しみました。

しかしながら、これは上手くいった時の様子であって、実際はなかなか思うように飛んでくれないことが多かったです。設計図通りに慎重に作ったつもりでも歪みがあったり、左右のバランスが悪かったりして手元からストンと地面に頭から落ちることすらあります。しかしそんな歪んだ飛行機でも、翼の調整を根気強く行うことで、歪んだなりに真っすぐ飛ばすことができるようになります。飛行機を高く、長く飛ばしたいという思いで、どこをどう調整すればよいか考えることがとても楽しくなりました。そんなことを繰り返すうちに、何事も失敗しても終わりじゃない、どうすればよくなるのかよく考え、あきらめないで修正、調整すれば何とかなる。きっとよくなるという風に思えるようになりました。

7月を迎え、いよいよ1学期も終わりが近づいてきました。新年度は、新しいチャレンジがあったことでしょう。新しいチャレンジには失敗がつきものです。きょううまくいかないこともあったのではないのでしょうか。

でも、失敗は成功のもと。うまくいかなかったわけが必ずあるはず。考えて、考え抜いてそれを見つけ出し、なんども修正、調整すればきっとクリアできるのだと思います。残りの日々で1学期の目標を振り返り、できたことは、さらに磨きをかけ、まだできていないところは、修正、調整をしながらクリアを目指し、1学期の成長をみんなで喜び合いたいと思います。

今月も学校教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

7月生まれのお友達へ おたんじょうびおめでとうございます。強く照り付ける日差しから力強さを、日差しを全身に受けて木陰を作り出している大きな木々から優しさを感じるすてきな景色です。この年も、みなさんのけんこうがささえられて、新しく年を重ねたよろこびを大切に、友達や家族みんなとなかよく、楽しい毎日をすごしてくださいね。みんなの夢をおうえんしています。新しいチャレンジを楽しんでいきましょう。